



# 世田谷稲門会会報

平成22(2010)年8月10日

## 第44号

稲門会 一夫彦行子利稔  
健邦明秀信尚  
世田谷 上島村内子坂川  
稲門会 世岩寺岩大兼宮小  
発行人集

事務局 〒156-0043  
東京都世田谷区松原5-19-4  
横田吉明方  
TEL/FAX03-3324-7046



先般、ご案内をお送りした通り、今年の納涼会は千歳会・さくら会連合が企画・運営して東京湾クルーズを行います。クルーズ船シンフォニー・モデルナに乗船、魅惑的な夕暮れをお楽しみ下さい。ビールやワインを楽しみながら、心地よいハワイアン音楽とフラダンス、更に潮風を受けながらのパノラマ景色を満喫して下さい。



申し込み締め切りは、八月二〇日ですので、早めにお申し込み下さい。集合場所・日の出埠頭午後三時四〇分  
後三時四〇分  
会費 大人九千円、中学生から小学生八千円、未就学児童四千五百円  
振込先・郵便局 口座番号 0010000112240  
世田谷稲門会事務局

### 納涼会 東京湾サンセットクルーズ 九月四日(土)開催

## 母校の今 —第17回—

＜早稲田大学の付属校・系属校＞紹介 =連載 その2=  
「早稲田佐賀中学校・高等学校」  
2010年4月 九州・佐賀県唐津市に開校!!



本年4月九州地区で初の早稲田大学系属校として「早稲田佐賀中学校・高等学校(学校法人・大隈記念早稲田佐賀学園)」が大隈老候の生誕地でもある佐賀県に開校した。

同校は、地方で校名に「早稲田」の名を冠するにあたり、早稲田大学建学の理念、すなわち、＜学問の独立＞、＜進取の精神＞、＜地球市民の育成＞を忠実に再現することを理念とする。さらに、『これら三つの理念の言葉の解釈を通じてローカル色も出していきたい(同校・溝上校長)』としている。また、「中高一貫教育による学力の強化」と「豊かな人間性を持ち、世界に貢献できるグローバルリーダーの育成」を教育方針として掲げる。

具体的には、教育の一環として地元の人々との活発な交流や、早大の教員を招いての講演会の開催など多彩な年間行事を実施する。さらに、中学時代では短期留学、高校時代には長期留学の機会をそれぞれ設けることにより、海外大学への進学もサポートするという。同校は男女共学制の中高一貫校であるが、募集人員は中学・高校とも1学年120人。クラス編成は、開校(本年)から3年間は中高とも1学年3クラス編成である。

九州地区は国公立校志向が非常に強く医歯薬系志望者も多いという特徴があるが、同校では早大への推薦入学枠として50%を確保、残り50%は国公立や医歯薬系校への進学の後押しをするという。これは、九州でトップ校として成り立って行くためには不可欠であるとの認識によるものである。

いずれにせよ、「6年間中高一貫教育を最大限に活用した学習カリキュラムときめ細かな学習指導により、確かな学力と豊かな人間性を持つ人物を育む」ことを目指している。なお、広く全国から多彩な入学者を受け入れるべく、付設寮「八太郎館」を併設し、快適な学園生活を送れるよう支援している。

同校の今後の発展に大いに期待したい。

(大内 秀行/記)









# 世田谷稲門会・平成21年度決算報告書及び22年度予算

(単位円)

項 目		21年度予算	21年度実績	22年度予算
前期繰越金	①	590,868	590,868	508,936
年会費	②	1,359,000	1,269,500	1,248,000
	(うち新入会員分)	(うち300,000)	(うち249,000)	(うち120,000)
総会 会費	ア	800,000	810,000	800,000
納涼会 会費	イ	640,000	440,000	640,000
新年会 会費	ウ	1,200,000	1,118,000	1,040,000
諸行事 小計(ア～ウ)	③	2,640,000	2,368,000	2,480,000
組織強化補助金	エ	330,000	326,000	330,000
利息収入	カ	1,000	165	200
その他収入小計(エ～カ)	④	331,000	326,165	330,200
収入合計①②③④		4,920,868	4,554,533	4,567,136

総会 費用	1	800,000	660,050	700,000
納涼会 費用	2	640,000	448,153	640,000
新年会 費用	3	1,200,000	899,951	940,000
総会等 予備費	4	50,000	0	0
総会等 講師謝礼	5	200,000	165,000	200,000
諸行事 小計(1～5)	I	2,890,000	2,173,154	2,480,000
部会ブロック会援助費	6	160,000	180,000	210,000
校友会23区活動費	7	200,000	124,951	200,000
広報活動費	8	810,000	897,403	750,000
新入会員増強活動費		(うち200,000)	(うち226,950)	
会報作成費		(うち550,000)	(うち501,419)	
ホームページ関連費		(うち60,000)	(うち169,034)	
事務運営費	9	100,000	103,964	100,000
会議費	10	250,000	228,514	250,000
事務用品費	11	100,000	114,932	100,000
通信費	12	150,000	165,360	150,000
雑費	13	60,000	57,319	60,000
諸経費 小計(6～13)	II	1,830,000	1,872,443	1,820,000
支出合計I+II		4,720,000	4,045,597	4,300,000
次期繰越金〔収入-支出〕		200,868	508,936	267,136
合計		4,920,868	4,554,533	4,567,136

21年度実績  
次期繰越金 内訳：小口現金 8,949 銀行預金 467,352 ゆうちょ預金 32,635

## 部会だより

### 芸術・芸能鑑賞部会

#### 「発足3年目を迎え、一層の充実を目指して」

芸術芸能鑑賞部会は発足3年目を迎えた。2年目の昨年7月から今年の6月までに鑑賞会の案内は18イベントを数えた。主なものでは、三越落語会を2回、歌舞伎を1回、人形浄瑠璃[文楽]を1回、能・狂言を1回、音楽関係は数多く11回、舞台でのお芝居鑑賞は2回行なった。印象に残るのは、大隈講堂で昨年10月の早稲田大学応援部主催の「古関裕而生誕100年記念演奏会」で、古関さんが生んだ数多くの名曲に圧倒された。会員の岡村喬生さんの「冬の旅」は変わらぬ美声に酔いしれた。又、会員・花田玲子さんの活躍ぶり、金さんの「アンサンブルof トウキョウ」のレベルの高い演奏会は評価される。又、三越落語会は人気があり、舞台鑑賞では加藤剛の大岡越前(三越劇場)、本多劇場での劇団若獅子の「丹下左膳」は席の条件も良く楽しめた。5月の文楽鑑賞会は特に希望者が多く29名の参加で、今回も若手人形遣いの第一人者「豊松清十郎」さんに開演前の楽屋案内を御願ひした。文楽鑑賞は初めての方も多く好評を頂いた。尚、今年後半の案内は、花田玲子さんの9月10日「懐かしの映画音楽アルバム」、10月22日の「るたんフェスティバル」、10月15日と12月15日のアンサンブルof トウキョウの定期演奏会や三越落語会、歌舞伎の新橋演舞場・国立劇場、さらに舞台鑑賞では明治座を予定している。新入会を歓迎いたします。ご家族・ご友人とご一緒に鑑賞会をお楽しみ下さい。

世話人：柏 良子 麻生卓司 鈴木宏治  
申込み先：鈴木 TEL/FAX 03-3307-2201

(鈴木 宏治/記)





## ゴルフ

例年通り4月の第62回中津川CCでのコンペがゴルフ部会のシーズン幕開けとなった。当日は早朝より風雨が激しく開催が危ぶまれたが、スタートを1時間遅らせたところ回復の兆しとなり、満を持しての開幕スタートになった。悪天候にするものぞと各部門の熱戦が繰り広げられ、47名の参加者全員が無事ホールアウトした。

5月には昨年12月に続いて今回は稲門会主催のもと、日高CCにて第2回「世田谷稲門会・三田会懇親コンペ」を開催。当日は絶好の天気にも恵まれ新緑も鮮やかな環境の中、全員元気にスタートした。2回目ともなると顔馴染みもでき、各組お互いに相手を敬いかつ牽制しながらの熱戦を繰り広げた。パーティでは岩上健一稲門会、三宅茂樹三田会の両世田谷会長の挨拶及びエールの交換などお和気藹々のうちに散会した。

6月に入って第63回は絶好の日和、富士山もくっきり浮かんだ都留CCにて開催した。初めて使用したコースもあって手強い18ホールへの挑戦となったが、アンダーパーが4人と流石の技を披露していた。

今期3戦の結果を下記しますと共に、今後の予定をお知らせ致します。皆さまのご参加をお待ちします。

- 第62回4月2日(木) 中津川CC 参加者47名。優勝者：総合・伊藤誠三、Gシニア・佐藤喜重、シニア・井澤貞夫、レディース・浜田昭子
- 稲門会三田会コンペ5月14日(金) 日高CC 参加者32名。優勝者・井上修(三田会)、準優勝・島田實(稲門会)、3位・三ツ谷襄一(稲門会)
- 第63回6月3日(木) 都留CC 参加者35名。優勝者：総合・矢野貞行、Gシニア・秋元孝禧、シニア・吉村豪介、レディース：村松久子
- 今後の日程 第64回 9月14日(火) ファイブハンドレッドCC、第65回 11月25日(木) 八王子CC (桃井 清治/記)



左から伊藤さん、浜田さん、佐藤さん、井澤さん



左から岩上会長、井上修さん、三宅会長



左から吉村さん、村松さん、秋元さん、矢野さん

## 囲碁将棋

第10回オール早稲田囲碁祭(首都圏)

6月5日、日本棋院市ヶ谷本院にて行われました。この大会は、参加チーム48、参加人員240人の大規模なもので、A、B、C、D、E、Fの6ブロックに分け、1チーム5人編成の団体戦です。世田谷稲門会チームの顔ぶれ、戦績、対戦相手を紹介します。

- 主将 池松正之 六段 (57商) 4-0
- 副将 武藤 哲 六段 (28法) 2-2
- 三将 斉藤政二郎 五段 (27理) 2-2
- 四将 萩原 健 二段 (34商) 3-1
- 五将 矢田 廣 二段 (34法) 急用のため参加できず急遽、他ブロックより応援 1-3

対戦相手：東村山稲門会、渋谷稲門会、四街道稲門会、流山稲門会。世田谷稲門会はCブロック(8チーム)で準優勝(12-8)。

対局後、市ヶ谷の居酒屋「天狗」にて「池松主将の四戦全勝」と「団体準優勝」を肴に酔いしれました。(萩原 健/記)

## ウォーキング



5月30日 川越・喜多院で



6月13日 世田谷文学館前で

5月9日は門前中町駅に15名が午後1時に集合、まずは深川不動と富岡八幡に参詣してから、木場公園では遠くに伸びる東京スカイツリーを背景に記念写真を撮り、下町情緒あふれる霊巖寺、清澄公園、芭蕉庵史跡公園を散策。

5月23日の川越小江戸めぐりは、雨天順延のため30日に川越駅に7名が集合し、江戸の街並と時の鐘、蔵作り資料館、駄菓子屋の集る菓子屋横丁、氷川神社、喜多院、東照宮と江戸時代にタイムスリップした様な散策を楽しむ事が出来ました。

6月13日は経堂駅に15名が集り、烏山川緑道、石仏公園、水際の散歩道、芦花公園、世田谷文学館、寺町散策と、世田谷ならではの文豪達を偲ぶウォーキングを満喫しました。

これからのスケジュールを紹介しますので、気軽に参加してみませんか。

9月12日 毘沙門天～神楽坂界限～料亭路地～赤城神社～臈の坂～北野神社～早大通り～早稲田大学構内～穴八幡宮～早稲田駅

10月10日 行人坂～大円寺～太鼓橋～大鳥神社～大聖院～羅漢寺～成就院～目黒不動龍泉寺～林試の森公園～武蔵小山商店街

10月31日 亀戸界限散策、亀戸駅～常光寺～東覚寺～香取神社～梅屋敷、跡～普門院～亀戸天神～東京スカイツリー～浅草駅

連絡先： 江原 利次 電話/FAX：5760-7118

メール： toshi@r01.itscom.net

(江原 利次/記)



## 俳句の会

毎月1回開催の当会もこの6月で第52回目の開催となりましたが、高橋悦男先生の良き指導のもとに、皆さんの俳句も確実に上達してきています。6月の句会は、兼題『更衣、ころもがえ』と季節に相応しい句を持ち寄り、お互いに好きな句を選んで得点を競い合い、最後に高橋先生から1句ずつの指導と俳句にまつわる話題を拝聴し、和やかなひと時を皆で楽しみました。

当日の特選句及び高得点句を紹介致します。

樽一つ波に残して海女沈む	悦男
妙義峰に霧たちこめて五月雨る	楊柳
更衣袂を透す陽のひかり	兆弥
万緑の水面に動く川下り	好孝
制服の腕のびやかに更衣	まもる

四季折々の素晴らしい日本の風物を俳句を通して鑑賞することにより、先人達から受け継がれた私達の生活もより豊になり、精神衛生上にも優れた効果を発揮しますので、ぜひ俳句の会に参加されるようお待ちしております。

(江原 利次/記)

世話人：江原 利次 電話/FAX: 5760-7118 メール: toshi@r01.itscom.net.

## 写 真

会員の皆さんが例会に提出される作品は、一眼レフデジタルカメラだけでなく、コンパクトデジタルカメラでの発表があります。コンパクトデジタルカメラの撮像素子の解像度が1200万画素以上になり、映像エンジンが一眼レフデジタルカメラと同じものになって写りに遜色が無くなり、A3サイズまで綺麗にプリント出来、撮影オート機能が良くなり、軽くて機動性がある、スナップ系には絶好のカメラとなりました。フィルムからデジタルに替わるには用語やカメラそしてパソコン等に扱い慣れない面で困った方は、最近のコンパクトデジタルカメラの利用が良いと思います。

写真は着眼点と構図が一番重要で、これが良くないとカメラ、レンズが良くても作品にはなりません。当写真部会にはこのコンパクトデジタルカメラでレベルの高い作品を作って例会に持って



(2)岡田吉郎さん(昭35 理工)作品の説明



(1)世話人の豊田宏さん(昭34教育)作品の説明

来られる方が既におられます。今後とも増えると思いますし、これからの時代は写真部会では一眼レフデジカメとコンパクトデジカメのどちらでも作品発表は出来ますので、作品作りを勉強したい方は一度例会を見学されては如何ですか。歓迎します。(連絡は種谷まで)

写真部会の例会は第3木曜日ですが9月のみ第2木曜日の9月9日(木)です。それ以降は10月21日(木)、11月18日(木)、12月16日(木)で午前10時より始まります。(種谷 鴻成/記)

写真下左 世話人の豊田宏さん(昭34教育)作品の説明(2010.06例会)スナップ写真で3回に分けて作品の説明。コンパクトデジカメで撮影。

写真上右 岡田吉郎さん(昭35 理工)作品の説明(2010.06例会)

今回は花のマクロ撮影(接写)で色々な花が紹介されました。マイクロ一眼で撮影。

## パソコン

3月23日開催の総会にて、新体制世話人と決算が承認されました。

4月以降新体制にて、月例会は従来同様、毎月第二・第四火曜日の午後、松濤町のマンション内の会場にて開催いたします。

新しく立ち上げたホームページは、その運用を7月より本部広報担当に引き継ぎ、パソコン部会は運用の協力することとなりました。

今後は企画担当世話人を中心に、部会会則の目的に記載の通り、会員同士でパソコンの知識の研鑽を図ることにより、会員の技術の向上を図って参ります。その為早期にパソコン部会専用のパソコンを入手し、メールアドレスの登録を行う予定です。その上でインターネットやメール、ワードやエクセルの裏技の演習、ブログの作成等会員同士で勉強を行ってまいります。

総会後に、会員の中井氏のお世話でNHKの放送センターの見学会を実施いたしました。放送の心臓部に当たるTOC(送出センター)等一般の見学コースにはない、特別メニューでの見学となり、連続ドラマ「ゲゲゲの女房」の収録風景をセットのすぐ脇で見学するなど、大変有意義な会となりました。

今後もパソコンとは直接的には関係の無い行事等も交えながら、活動して参ります。

入会希望の方は、経験技量に関係なく、お気軽に世話人までお申し出ください。

(高橋 毅/記)



## スポーツ観戦

### 慶応に惜敗

5月29日(土)、勝点2を上げた方が優勝するという早慶初戦を25名が観戦しました。曇天の中、予報では降雨率50%でしたが、幸い雨はなく熱戦を展開しました。

試合は早稲田が必勝を期して斉藤投手、慶応は竹内投手と両エース対決の好試合でした。試合前の予想では早大の強力投手対慶応の厚みのある打線と言われていましたが、慶応の強打の前に斉藤がつかまり、完投しながら1-2の惜敗でした。早稲田は二度も絶好のチャンスがありながら主力打者の一発が出ず、悔しい敗戦でした。

試合終了後は恒例の祝勝会を残念会に変え、外苑前の「ますだ屋」で20名が参加して懇親会を行いました。会場では第2戦、第3戦を連勝して優勝することを期待し、大いに盛り上がりました。

翌30日の第2戦は4-2で雪辱しましたが、第3戦は強力投手陣3人が2点ずつ奪われる展開となり4-6で敗れ、慶応に11季ぶりに優勝されたシーズンとなりました。

早稲田にとっては最近では経験のない悔しさの残るシーズンでした。次の秋季リーグでは早稲田の強力打線の復活と投手陣の一層の奮起を期待して、ぜひ優勝して欲しいものです。また必勝を期して応援しましょう。  
(岸田 正和/記)



## ボウリング

世田谷オークラブボウルはレーン数も30と多く、フロアーも広々として空調設備もよく、夏は涼しく別天地のような世界。原則月1回の例会を渋谷稲門会と合同で開催していますが、お互い元気に楽しく投球を続けています。最近の活動状況は次の通りです。

4月11日(日)、参加者13名。172点：天野善弘、165点：高橋順子、132点：佐山順孝。天野さん、スピード豊かな絶妙のコントロールで3連続ストライク(ターキー)を含む5ストライク・3スペアーを出して見事な高得点!! 夫の善一郎さん(31商)と仲良く殆ど毎回参加の高橋順子さん、今回はビックリするような制球力を見せて3ストライク・5スペアーの快心の投球で大健闘、嬉しいかぎり。佐山さんもマイペースの堅実で安定した投球で健闘。

5月30日(日)、参加者6名。122点：武藤哲、120点：高橋順子。今回は参加者少なく、お互い雑談を交しながらのお遊び気分の投球で得点伸びず。好プレー、珍プレーに拍手を送りながらの楽しいひとときでした。

6月は中旬以降の日曜日が団体貸切等で予約が取れず止む無く休会。

年齢60歳を超えると運動不足による体調の変化や足腰の異常等が起き易く、ボウリングはこれらを解消して体力を維持、健康を増進するには最適のスポーツ。終わって近くの喫茶店やレストラン等で四方山話に花を咲かせるのも楽しいもの。気楽にご参加のほどをお待ちしています。  
(武藤 哲/記)

## 麻雀

①3月14日(日)、肌寒い一日、28名の紳士淑女が集い賜杯を争った。優勝争いは前半二連敗を喫した国澤・加藤・脇坂三氏に絞られたが、役満を上がり必死に逃げ切りを謀る加藤氏に脇坂氏が追い付き僅差で逆転し、久し振りに優勝を遂げた。優勝：脇坂元彦、準優勝：加藤禮子、3位：国澤俊一、4位：高橋義幸、5位：下谷内堯、6位：池田良夫

②4月10日(土)、三区親善麻雀大会を当部主催で渋谷のスリーハンドレットで開催した。故あって渋谷稲門会は参加せず目黒稲門会との親睦試合となった。当部の入賞者は以下の通り。3位：橋本大道、4位：池田良夫、5位：奥田隆、8位：上保幸夫、19位：武田一成

③4月17日(土)、初夏を思わせる暖かな一日、26名の善男善女が集いゼロサムゲームに興じた。試合は久し振りに復帰したベテランの荘司氏が、前半飛び出した松下・田島・武田三氏が最終戦苦戦しているのを後目にトップを取り、逆転初優勝を遂げた。優勝：荘司真恵、準優勝：田島功統、3位：松下忠史、4位：武田一成、5位：宮木甫、6位：草谷好孝

④5月16日(日)、大田稲門会より4名の来賓を迎え、過去最多の37名の美男美女が集まり口と技と運を頼りに本年の運勢を占った。試合は初回より独走態勢に入り優勝確実と自他共に認めていた蔭山氏が最終回マサカのピリを引き、この機を逃さず勝負をかけた松下氏に逆転初優勝されてしまった。優勝：松下忠史、準優勝：蔭山康夫、3位：草野昭次、4位：高橋毅、5位：松本常男(大田稲門会)、6位：橋本大道

⑤6月19日(土)、梅雨の合間の晴天の一日、計25名の腕に自信のある老若男女が集い賜杯争奪戦を展開した。試合は初回大量得点を上げた上保氏が最終回キッチリとトップを取り、猛追する武田・荘司両氏をかわして久し振りに勝利の美酒を飲んだ。

(下谷内 堯/記)





## 食 べ 歩 き

(1) 2月28日、第43回例会を開催。参加者39名。世田谷区下馬の「ちゃんこダイニング桜一（さくらい）」で岸田正和氏の司会により進行し、初参加の佐々睦子・高橋舞子両氏の自己紹介の後、代表世話人の挨拶・会務報告があり、関根昌一氏の乾杯発声で開宴した。今風のデザインの明るい店内は活気に満ち、ホカホカ鍋のちゃんこや数々の一品料理を満喫、日本酒「男山」やフランスワイン等の美酒に酔い飲談は弾み最高に盛り上がった。話題提供の発言相次ぎ、加藤禮子氏の「バンクーバー五輪スケート」の話に感銘を受け、岩上健一氏の哀調切々たる「相撲甚句」の披露は「52代横綱・北の富士」関連のこの店の雰囲気高め満場拍手喝采。閉めは全員「都の西北」を声高らかに斉唱し散会した。午前中の雨もやみ晴れ上った中、各自三々五々隣接する「水と緑」の自然溢れる広大な世田谷公園を散策した。

(2) 4月18日、第44回例会を参加者34名で開催。高級料亭芝「うかい亭」で柏良子副会長の軽妙な司会により進行。初参加の倉田豊夫妻・星野聡史・松尾守・渡邊那智子各氏の自己紹介の後、代表世話人の挨拶・会務報告があり、上保幸夫氏の乾杯発声で開宴した。東京の都心でこんな閑静なところがあるのかと思われる、山里の風情ある周囲環境に包まれた数奇屋造りの二階の座敷より、眼下の素晴らしい庭園を眺めながら旬の会席料理を賞味した。竹筒入りの冷酒をはじめ各種の銘酒に酔い、名物の「豆水とうふ」をはじめ数々の料理に舌鼓を打ち、場は最高に盛り上がった。宴たけなわの中閉宴の刻となり、岸田正和氏の中締め挨拶で散会。各自、徳川家霊廟や数々の歴史遺産のある浄土宗大本山・芝増上寺、緑濃き芝公園や東京タワー等の名所旧蹟を見学散策し、遅咲きの桜と萌出でる若葉の新緑とが交錯する春の息吹を満喫した。

(大須賀 肇/記)



(芝 うかい亭での会食)

## 釣 り

4月8日、当部沖釣り幹事の中山大平氏（毎日新聞社出身）が逝去されました。成勝寺の通夜には釣り部から国澤、島田、成田、寺島の各氏と小生が参列しました。沖釣りの世話役は永年の経験からの新しい釣魚、船宿選定、釣り時期、部員への連絡、出席の有無、仕掛の紹介、釣法の指導など大変ですが、中山さんは積極的に励んでくれました。釣り部として献花をさせていただきました。衷心よりご冥福をお祈り致します。同じ毎日新聞社の記者で関西磯釣り・サーフの大功労者だった小西和人氏も昨年亡くなりましたが、著書の「楽しみを釣る」は含蓄のある題と思います。

〈春の乗込み〉

真鯛釣りは近堂幹事の世話で4月3日、常連4名で北浦のホソへ出漁するも寒気と強風のため早々に竿をたたんだ。4月26日は近堂、江連、川尻氏の3名霞ヶ浦有賀のホソで各自30cm強の真鯛2匹以上と大型のみの釣果で大満足。5月9日北浦の大船津のホソへ近堂、川尻、柴田の3名出漁。柴田29cmの大鯛を釣ったが、余り釣れず。6月20日近堂、川尻の両氏が参加して手長エビを荒川に釣るも、水上スキーのため釣りにならず。



真鯛の乗込みは4月25日松輪沖へ利一丸より8名参加。百艘程の遊漁船が鯛を狙っていたが殆ど釣れておらず、我々も大アジに転向、程々の土産を得た。5月8日再度松輪沖へ出漁するもやはり鯛は出ず、38cmの大アジの土産に満足させられた。例年一人は必ず釣ったのだが…。

6月27日のカサゴ釣りは金子氏一人の参加。小生も先月より肺炎となり、全ての釣りやゴルフを休ませていただき申し訳なく思っています。

(柴田 昇/記)



## カラオケ



(陽明門の前)

6月13日(日)14日(月)の両日、「カラオケ観光温泉旅行」をバスで鬼怒川に行ってきました。参加者は男性6名、女性5名の11名で、バスは中型のデラックスサロンバスです。発車まもなく早速カラオケが始まりました。4時30分にホテルに着くまで途中2箇所の休憩以外、殆ど唄いっぱなしでした。

ホテルは「鬼怒川グランドホテル」で、街から離れた静かな新緑に包まれた風格のある落ち着いた宿で露天風呂も広く、岩の間のつつじも満開で湯煙の中、美しい絵画のようでした。宴会の後、カラオケルームを借り切って2時間ほど唄い続けました。

翌日は世界遺産「日光東照宮および輪王寺」を見学しました。殆どの方が一度は訪れていますが、「陽明門」「鳴龍」「眠り猫」など、その建築の素晴らしさと江戸幕府260年の基礎を築いた家康の権勢に改めて痛感させられました。

昼食後、一路帰途につき、東北道に入るとまたカラオケが始まり、ひばりの「おまつりマンボ」、沢田研二の「勝手にしやがれ」などで車中大いに盛り上がり、最後に冠二郎の「旅の終わりに」で千歳船橋に無事着きました。本当に今回はカラオケや世界遺産に触れられ大変楽しい旅行でした。

(清水 明雄/記)

## 青年部会

1月29日(金)に大隈記念タワー16階にある早稲田大学校友サロンにて開催した第1回青年部会に続き、第2回青年部会を8月20日(金)に開催することとなりました。当初、初夏(5~7月)を予定していましたが、準備や日程調整のため大変遅くなってしまいました。第2回目もスタート時間はやや遅い19時を予定しております。第2回青年部会への参加希望の方は、setatou.seinen@gmail.comまでご連絡をお願いします。追って詳細をご連絡させていただきます。

また、57年商卒の池松さんにも幹事会に加わっていただき、5人体制となりました。幹事会は通算7回を数え、さまざま企画を練っているのですが、まだ第2回目でもあり、お互いをもっと知る意味でも、次回も異業種交流のような懇親会を予定しています。第3回目以降は杉並稲門会青年部会との交流なども行っていきたいと考えております。

青年部会は発足したばかりであり、昼間は仕事を抱える現役世代を対象としているため、未だ不定期の開催です。時期を決めて定例的に開催できるように、幹事会ではメンバーの拡大、企画の充実に努めていきたいと思っております。青年部会について何かご意見がありましたら、是非setatou.seinen@gmail.comまでご連絡をお願いします。

(神谷 直希/記)

## ブロック会だより

## け や き

絶好の行楽日和の4月24日(土)午後5時15分から、経堂の「咲くら領」で本年第1回目の総会兼懇親会を開催した。世田谷稲門会事務局より岩上会長、柏・横田両副会長ご出席の下、既存並びに新会員計21名の会員が集い、懇談・会食・既存会員の近況報告・新会員の自己紹介に加えて岩上会長および柏・横田両副会長のお話等で閉会まで盛り上がり、次回再会を約して散会した。

(下谷内 堯/記)





## キャロット

2010年4月4日(日)午後2時より、キャロットタワー1階シアタートラムに於いて、第2回稲門寄席をキャロット会主催、世田谷稲門会後援で開催致しました。

当日は好天で花見に出かけられた方も多く、お客様は170名でした。杉並稲門会、目黒稲門会の方もお越し戴きました。

演者は前座の春風亭朝呂久(しゅんぷうていちょうろく)さん以外早稲田大学に在籍された、柳家初花(やなぎやしよっぱな)さん、柳家

小菊(やなぎやこぎく)師匠、柳家甚語楼(やなぎやじんごろう)師匠、桃月庵白酒(とうげつあんはくしゅ)師匠の5名でした。

演題は朝呂久さんが「花色木綿」、初花さんが「長屋の花見」、甚語楼師匠が「天狗裁き」、小菊師匠が「粹曲」、白酒師匠が「ずっこけ」でした。ご来場の皆さん落語、三味線を楽しまれました。

2010年11月27日(土)午後5時30分よりキャロットタワー26階のスカイキャロットでキャロット会忘年会を開催致します。他の部会の方もご参加戴ければ幸いです。(富塚 兆弥/記)



## さくら

第21回さくら会を6月6日(日)午後4時半から7時まで桜新町の和食料理の『Shin-和』で開催しました。参加者は総勢で23名。特に今回は本部より、岩上健一会長、麻生卓司幹事長、柏良子副会長、千歳会鈴木宏治副会長が出席致しました。岩上会長より、さくら会及び千歳会に対して、改めて今年度の納涼会への協力の要請がありました。

1. さくら会と千歳会の両ブロック会の担当幹事が納涼会『世田谷稲門会東京湾クルージング』の企画運営を行います。

2. 開催日時:9月4日(土)、詳細は別項の記事をご参照下さい。さくら会及び千歳会としても、担当幹事ブロック会として全員一致で当企画運営を推進していますので、皆さんが参加して良かったと楽しんでいただけるように、会員の一層のご協力をよろしくお願い致します。

3. 千歳会鈴木宏治幹事より、クルージングの詳細及び23区稲門会の説明がありました。

4. 新入会員・田部井好文氏の自己紹介がありました。

5. 『わが人生を語ろう』

今までやってきたこと、今もやっていること。今後もやりたいこと。年配の方が多いため健康のこと。海外旅行のこと、最近の世相、今年の景気、政治等。趣味でも過去の仕事でも第一の人生、第二の人生でも結構です。何かふつふつと燃える思いが誰でももっていると思います。前回までに中瀬正一氏、前原祖彦氏、関根昌一氏、上田忠雄氏、栗山佳三氏、若林昭男氏、柴田昇氏、井山庄司氏、飯島勲氏に語って頂きました。今回は岡本一精氏にお願い致しました。氏は、終戦直後の日本の食糧事情が危機的に困窮したことについて具体的な体験を交えてお話をされました。

6. 俳句の会については、初めさくら会の一部門として旗揚げ致しましたが、会を重ねるごとに、さくら会以外の他のブロック会の会員も多くなり、本部の部会とした方が今後の運営上良いと思われるので、本部の部のひとつに格上げして運営することに決定致しました。(矢田 廣/記)

## 玉川

5月30日(日)玉川会の春のグルメ会を開催しました。グルメ会は春と秋の年2回ランチの形で行っていますが、地元グルメ情報に大変精通した小山田さんに毎回取っておきのお店を手配して頂いています。今回は自由が丘駅から徒歩1分の至近距離にある「ル・ポレン」で開催、非常に美味しいフランス家庭料理が評判のお店です。今回は会員19名と夫人6名の25名が参加しました。

小山田さんの発声による乾杯で12時に開宴。この店の料理はボリュームたっぷりなのが特徴で、オードブルの段階で既に結構な満足感を得られます。いつもながらの井澤さんによる軽妙な名司会により進められ、まず玉川会総会の案内、初参加の小口さんの挨拶がありました。歓談が進む中、野田さんのお仕事の話、高橋さんのロシア旅行談、井山さんの絵画・彫刻のお話と続き、気になっていた早慶戦の途中経過報告も行われ、大いに盛り上がりました。メインディッシュを食べ終わりデザートが出るところで、恒例となった“席替えタイム”となり、席替え後は色々なテーブルから大きな笑いが出て本当に皆さん楽しそうでした。全員で記念撮影を行い、岩沙さんの締めのお話の後3時20分に閉会となりました。

お店が貸切りだったこともあって、スピーチ等も周りを気にすることなく終始家庭的でとてもなごやかな雰囲気でした。秋のグルメ会は11月に開催する予定です。

(太田 隆/記)





## 西 北

例会 3月29日(月)18時より第20回目を何時もの参宮橋「新日鐵代々木倶楽部」で開催しました。今回は新入会員が16名と多く入られたので新旧会員懇親という主旨で開催しましたが、年度末の多忙期だったためか、参加者20名、内新入会員は4名でした。最初に新入会員の方々に自己紹介をお願いし、倶楽部の美味しい料理とお酒で賑やかに懇親会を催し、参加者全員の改めての自己紹介も行い和気藹々のうちに楽しく歓談致しました。7月9日(金)同じ場所で次の例会を開催しました。

サポーター会 当会には若手世話人をサポートするサポーター会が有り、2カ月に1回位会合を開いて会運営のご意見を頂いております。若手と言っても70歳近くで、先般の露木茂氏の話ではありませんが「くどくなる、たちまち忘れる、すぐぼやく」の兆候がありますが・・・。6月21日(月)18時より、下北沢の「飛ぶ魚」で、美味しい魚料理とお酒で楽しく懇談し、貴重なご意見等拝聴しました。

西北雀会 毎月第4木曜日に、下北沢の「カメキタザワ」で楽しく、他のブロックの方も参加され開催しております。最近は女性軍の活躍が目覚しく男性を圧倒しております。参加希望者は、幹事の桃井氏、熊本夫人までお申し出下さい。(松浦 晋三郎/記)

## きぬた

《きぬた会》地区の観光スポットについて...

今回は、当地区(砧・祖師谷・成城・喜多見等の“観光スポット”の一つ、「旧猪股邸」、現在は、庭園管理のためか「猪股庭園」と呼ばれている)を、パンフレットの記事を基にご紹介します。

旧猪股邸は、故・猪股猛氏((財)労務行政研究所・理事長)夫妻の邸宅として建てられたもので、設計は吉田五十八氏(昭和39年・文化勲章受賞)。

1,861.7㎡(約564坪)の敷地に、371.0㎡(約112坪)の木造・平屋建ての格調高い数寄屋造りの邸宅です。

複雑な屋根の構成と、主屋と茶室の巧妙な配置から“和風モダン”あるいは“近代数寄屋”を完成させたといわれる吉田氏のデザイン感覚が感じとれるでしょう。

また、南に面したどの部屋からも異なったアングルで眺められる庭園は、スギゴケに水路を配した回遊式風のもので、アカマツをはじめとして多くの植栽が配置され、厳冬のウメから晩秋・初冬のサザンカ・カンツバキに至るまで、四季折々の“日本庭園”の美しさを観賞することができます。

と、いったことで既にご承知の方も多いと思われそうですが、敢えて「世田谷稲門会」の皆さまにお知らせしたいと考えた次第です

(吉村 豪介/記)



## 会員の広場

### 趣味の本を書いて

「第三十五回交通図書賞

(技術)」を受賞

守谷之男(昭二九年理工)



仕事も趣味も電車一筋の私は「電車のはなし」という本を友人との共著で出版、このたび「第三十五回交通図書賞(技術部門)」を受賞しました。電車大好き老人が本を出すことで多少なりとも社会に貢献できる機会を見出せたのは嬉しい限りです。

大学卒業論文は石塚教授の指導で「経済的な電気車の運転」を友人と共同で書きました。そして電車好きが昂じて東急車輛という鉄道車両メーカーに就職しました。丁度青蛙と呼ばれた東急電鉄の五〇〇〇形が出来た年で、この頃

から続々と新形電車が登場し、玉電には二〇〇形(ペコちゃん)が出て来ました。入社してからの仕事は電車の設計が中心で、日本で初めてのステンレス電車東急五二〇〇形、オールステンレス東急七〇〇〇形の設計なども経験しました。

その後は輸出関係の仕事や営業関係の仕事も経験して平成一〇年に退職しました。退社後は早稲田電気工学会の事務局長を数年担当してその後完全な年金生活に入り、世田谷稲門会の写真・ゴルフ部会や地域の学習会などに参加して日々を送っています。

自分の自由時間が取れるようになってから、四十数年仕事として付き会って来た電車を改めて見直すと、意外に知らない事が多いのに気が付きました。その一方で時間があるので調べた事をメモに残しているうちに、以前仕事で色々とお世話になった元東急電鉄車両部長の宮田道一さんからは、いわゆる鉄道マニアではない一般の人達にもっと電車の事を知って貰えるような読み易い本を書いてみようという誘われ、共著の形で纏めたのが「電車のはなし」です。



宮田さんは実際に電車を運

転してお客様を運ぶプロで、私はその電車を造るプロでし

たから、それぞれの立場で電車の誕生から今日までの発展の様子を出来るだけ身近な実

例を挙げて、中高生から一般

社会人に読んで頂ける程度、或いはお母さんが子供さんに読み聞かせが出来る程度の本にしようという心がけました。

縦書きとして数式を使わず平様な言葉でと云う基本の構

とうとう書き始めてから二年もたつてしまいました。

日本で最初の市街電車がな

ぜ京都だったのか、調べてみると明治維新によつて日本の首都が京都から東京に移り、

京都一帯の産業地盤沈下に心配した明治政府が琵琶湖疏水

事業を始めた事が発端だと知り、この本の執筆に関係して私自身も色々勉強させられました。

各地の電車がお寺や神社の参詣客のため、或いは温泉の行楽客のために造られたなどと、ルーツを探るだけでも興味は尽きません。また、日本の産業構造の変遷が具体的に解るなど様々な点で自分自身

の勉強になりました。最近では、ものを考えて書く事がボケ防止に有効だと実感もしている次第です。

なお、早稲田大学の中央図書館と理工図書館には本書を贈呈し蔵書にして頂ける事になりました。

現在、私は二つの大学の同窓会に所属しています。「お茶の水会」という東京医科歯科大学の同窓会の会員の職業は、当然のことながら歯科医のみです。必然的に会合では専ら歯科に

関する話題ばかりで、少々退屈してしまいます。一方、稲門会の会員の方々は多士済々で、話の内容は人生経験に裏打ちされて実に面白く、稲門会の会合に出席するのは私の楽しみの一つでもあります。

さて、ここで歯に関する話を少ししてみたいと思います。今や国民病とも言われる歯周病(い

れの治療も残っている健康な歯に過度の負担がかかるようになるため、将来的に歯がグラグラしたり、虫歯になったりすることがあります。その結果、更に歯の喪失を招くという悪循環に陥ります。

そこでそれを防ぐための新しい治療法として、インプラント治療が広く行われるようになってきました。これは歯の欠損部位の骨内に人工歯根(インプラント)を埋め込み、二、三カ月後その上に人工歯を被せるものです。それによって、いわゆる第二の永久歯として永く機能することになる素晴らしい治療法です。私のところにも、何でも咬めるようになったという喜びの声が数多く寄せられています。もし現在、歯でお困りのことやお聞きになりたいことがあれば、同じ稲門会員としていつでもお気軽にご相談ください。QOL(生活の質)を充実させるためには、歯の健康が何よりも大切なのですから

編集部より

立川永大会員の連絡先は次の通りです。

「キヌタ歯科クリニック」  
世田谷区砧6-37-15  
砧TERRUBIL3階  
03-3415-9571

# 「歯は命」

立山 永大(昭五二年政経)

私が小田急線祖師谷駅前近くに歯科クリニックを開院したのは、今から二十年余り前の事です。稲門会の会合に出席すると「早稲田大学を出てなぜ歯科医なの？」とよく聞かれます。いえ、私も卒業後一度は会社勤めをしていました。しかし、会社組織の中で自分を生かす場所が見つからず悶々とした気持ちを抱えたまま、数年間のサラリーマン生活を送っていました。そして自分の進むべき道を変えようと一念発起し、再度大学受験に挑戦し、幸いにも国立の東京医科歯科大学歯学部合格に至ったのでした。早く独立したいという夢を実現するため、在学中から同大出身の先輩でもあった私の兄のクリニックに出入りし、研鑽に励みました。

わゆる歯槽膿漏)や虫歯などによって、歯の本数は年齢とともに徐々に減っていきます。そしてその欠損した部位に義歯(取りはずしの入れ歯)やブリッジ(両隣の歯を削ってつなげて固定する)という治療を行うこととなります。しかし、い

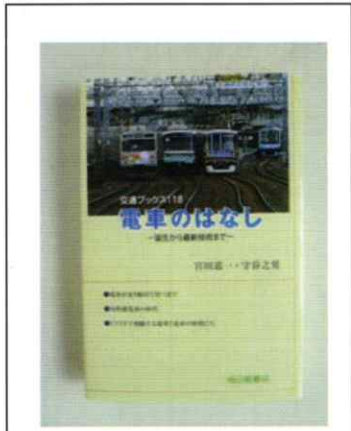
れの治療も残っている健康な歯に過度の負担がかかるようになるため、将来的に歯がグラグラしたり、虫歯になったりすることがあります。その結果、更に歯の喪失を招くという悪循環に陥ります。

そこでそれを防ぐための新しい治療法として、インプラント治療が広く行われるようになってきました。これは歯の欠損部位の骨内に人工歯根(インプラント)を埋め込み、二、三カ月後その上に人工歯を被せるものです。それによって、いわゆる第二の永久歯として永く機能することになる素晴らしい治療法です。私のところにも、何でも咬めるようになったという喜びの声が数多く寄せられています。もし現在、歯でお困りのことやお聞きになりたいことがあれば、同じ稲門会員としていつでもお気軽にご相談ください。QOL(生活の質)を充実させるためには、歯の健康が何よりも大切なのですから

編集部より

立川永大会員の連絡先は次の通りです。

「キヌタ歯科クリニック」  
世田谷区砧6-37-15  
砧TERRUBIL3階  
03-3415-9571



成山堂書店 発売  
定価 1800 円 (税別)

なお、早稲田大学の中央図書館と理工図書館には本書を贈呈し蔵書にして頂ける事になりました。

現在、私は二つの大学の同窓会に所属しています。「お茶の水会」という東京医科歯科大学の同窓会の会員の職業は、当然のことながら歯科医のみです。必然的に会合では専ら歯科に

関する話題ばかりで、少々退屈してしまいます。一方、稲門会の会員の方々は多士済々で、話の内容は人生経験に裏打ちされて実に面白く、稲門会の会合に出席するのは私の楽しみの一つでもあります。

さて、ここで歯に関する話を少ししてみたいと思います。今や国民病とも言われる歯周病(い

れの治療も残っている健康な歯に過度の負担がかかるようになるため、将来的に歯がグラグラしたり、虫歯になったりすることがあります。その結果、更に歯の喪失を招くという悪循環に陥ります。

そこでそれを防ぐための新しい治療法として、インプラント治療が広く行われるようになってきました。これは歯の欠損部位の骨内に人工歯根(インプラント)を埋め込み、二、三カ月後その上に人工歯を被せるものです。それによって、いわゆる第二の永久歯として永く機能することになる素晴らしい治療法です。私のところにも、何でも咬めるようになったという喜びの声が数多く寄せられています。もし現在、歯でお困りのことやお聞きになりたいことがあれば、同じ稲門会員としていつでもお気軽にご相談ください。QOL(生活の質)を充実させるためには、歯の健康が何よりも大切なのですから

編集部より

立川永大会員の連絡先は次の通りです。

「キヌタ歯科クリニック」  
世田谷区砧6-37-15  
砧TERRUBIL3階  
03-3415-9571



**新入会・退会・住所変更等のお知らせ** 平成22年6月25日時点  
 名簿〔平成21年3月発行〕後、会報40・41・42・43号掲載以降分〔敬称略〕

〔新入会員〕

氏名	卒年・学部	郵便番号	住所	電話	FAX
藤井 厚司	昭55政経				
村山 徹	昭35文				
池田 展夫	昭41政経				
福岡 喜正	昭52政経				
三浦 基	昭48文				
北村 実	昭45政経				
野田 守	昭46理工				
福田 喜朗	昭35政経				
旭 正勝	昭41商				
井上 文	昭45理工				
南 敦	昭58法				
池田 友彦	昭61文				
岩田 健一	平03法				
矢野 正晃	平01教育				
一由 貴之	平12社会				
倉持 博	昭55法				
石橋 暉彦	昭37理工				
松山 雄三	昭38理工				
小御門俊郎	昭50文				
矢崎 茂夫	昭43理工				

個人情報につき不掲載

〔退会会員〕

氏名	卒年・学部	理由
中山 大平	昭40法	
原田 律夫	昭34法	
山元 征機	昭40法	
岩崎 矩夫	昭35法	
森 博紀	平09政経	
船見 由美	昭59教育	
荒木 善明	平10社会	
新津 紀彦	昭43商	
大崎 介蔵	昭27理工	



〔住所変更・訂正〕

佐伯 憲一	平10文	
-------	------	--

〔訂正〕

竹入 啓子	昭44教育	
榎並 俊一	昭46理工	

**事務局だより**

二面での報告通り、先の総会で岩上会長以下役員が選任され、それぞれ担当業務も決まりました。事務局担当一同、会員の皆さんが喜んで色々なイベントにご参加し、お楽しみいただけるよう、出来るかぎりご要望にお応えしたいものと気持ちを新たにしております。どうぞご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

今年の納涼会は一面にご紹介がありますが、昨年の玉川会につづき、千歳会・さくら会連合に担当をお願いし、「東京湾サンセットクルーズ」となりました。ご案内お手元に届いていると思います。ぜひご参加いただき一タをお楽しみください。

この春の叙勲で会員の永井憲一さん〔昭28法・梅丘在住〕が「瑞宝中授章」を授章されました。総会で皆さまにご披露の予定でしたが、ご本人が当日どうしても都合がつかず、この誌面を借りて報告申し上げます。おめでとございました。

（横田 吉明／記）